

海をわたる人びと

～東アジアと日本～

固有の歴史や文化、技術等をもつ人びとが、海をわたり与えた影響や交流等について、歴史から学び、理解を深めるきっかけづくりをしませんか。(全6回)

受講料
無料

【連続講座・プログラム】第1～3回は10時30分開始、第4～6回は10時開始です。

回	日時	テーマ 及び 講師
1	9/11(木) 10時30分～12時30分	海の日本史 ～開と閉の体系を考える～ 元日本大学教授 関 幸彦氏
2	9/25(木) 10時30分～12時30分	律令国家と渡来文化 ～遣唐使を考える～ 奈良県立万葉文化館名誉研究員 松尾 光氏
3	10/9(木) 10時30分～12時30分	平安のなかの不安 刀伊の入寇と摂関時代 元日本大学教授 関 幸彦氏
4	10/23(木) 10時～12時	日宋貿易と平氏政権 京都芸術大学講師 角田 朋彦氏
5	11/13(木) 10時～12時	元寇から倭寇へ 京都芸術大学講師 角田 朋彦氏
6	11/27(木) 10時～12時	大航海時代と天下人 鶴見大学名誉教授 石田 千尋氏

日程 2025(令和7)年 9/11・9/25・10/9・10/23・11/13・11/27 全て木曜日

時間 第1回～第3回 10時30分～12時30分 第4回～第6回 10時～12時
第1回は、9時50分開場の予定です。

会場 川崎市幸市民館 1階 大会議室

対象・定員 興味のある方 50人 (原則としてすべての回に参加可能な方)

受講料 無料

申込 8月14日(木)10時から (先着順)

幸市民館のホームページまたはこちらから ⇒

問合せ 川崎市幸市民館(川崎市幸区戸手本町 1-11-2 幸文化センター内)

電話 044-541-3910 (休館日のぞく)9時～17時



講師プロフィール

せき 幸彦氏
ゆきひこ



第1回・第3回

元日本大学教授。

かわさき市民アカデミー副学長。専攻は日本中世史。近年は中世・東国武士団の諸相・中世芸能論を研究している。主な著書に『鎌倉殿誕生』（山川出版社）、『その後の東国武士団』『敗者たちの中世争乱』（吉川弘文館）『武家か天皇か』『藤原道長と紫式部』（朝日新聞出版）『刀伊の入寇』（中央公論新社）など。

つのだ 朋彦氏
ともひこ



第4回・第5回

京都芸術大学講師。日本

中世史専攻。これまでいくつかの自治体史に携わり、地域に視点を据えて歴史を見ることに主眼を置いている。令和5年度幸市民館市民自主事業「『吾妻鏡』から川崎地域を読み解く」の講師を務め好評を博し、同年、多摩川周辺の旧鎌倉街道をゆく、街道歩きの講座も開催された。共編著に『武蔵武士団』『相模武士団』（吉川弘文館）など。

まつお ひかる
松尾 光氏



第2回

奈良県立万葉文化館名誉研究員。

専攻は日本古代史。主な著書・論文は『古代政治史の死角』『飛鳥奈良時代史の研究』（花鳥社）『古代史の思い込みに挑む』（笠間書院）『大宝二年西海道戸籍にみるいわゆる高齢出産者の年齢』（木本好信編『古代史論聚』（岩田書院）所収）など。

©高岡観光ナビ

いしだ ちひろ
石田 千尋氏



第6回

鶴見大学名誉教授。

専攻は近世対外交渉史。

主な著書・論文は『日蘭貿易の史的研究』『日蘭貿易の構造と展開』『日蘭貿易の歴史的展開』（日蘭貿易三部作、吉川弘文館）『キリシタン世紀と日本仏教の変容』（『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第1号）など。

アクセス:幸市民館

電車 JR 南武線矢向駅から 徒歩約 15 分
JR 南武線鹿島田駅から 徒歩約 20 分

バス 川崎駅ラゾーナ広場から

市営バス 71 系統（小杉駅・上平間）行き
で「幸区役所入口」下車 徒歩 2 分

武蔵小杉駅から

市営バス 71 系統（川崎駅ラゾーナ広場）行き
で「幸区役所入口」下車 徒歩 2 分

